

はなわ

2012

平成24年5月1日
No.582

5

元気よんハイ!

埜幼稚園の入園式が4月9日(月)に行われました。平成24年度の入園児は44人。入園児たちは、名前を呼ばれると元気よく返事をし、幼稚園での生活を今からとても楽しみにしているようでした。

CONTENTS (主な内容)

原子力損害賠償に対する、これまでの経過 ...P 2~3

笹原小学校・統合後初の入学式P 11

妊婦・18歳以下 → 30万円 (県の給付 + 東電の賠償)

それ以外の住民 → 4万円 (県の給付)

県南・会津地域、県の提案を受け入れ
 東京電力・原発事故の精神的損害への賠償
 原子力損害賠償に対する、これまでの経過を振り返ります

平成23年12月6日

文部科学省の原子力損害賠償紛争審査会が、東京電力福島第一原発事故に伴う自主避難の賠償指針(妊婦と18歳以下の子どもは1人当たり40万円、それ以外は一律8万円。福島県の23市町村を対象)を決定。

12月8日 埴町をはじめ県南・会津地方の26市町村がこの指針から外れる。

12月9日 県南地方9市町村の首長、議長が、佐藤雄平知事に対象区域の拡大を求める。

12月12日 各行政区域長へ「原発事故に伴う賠償対象地域の拡大を求める署名」を依頼。翌10日、回覧で区民への協力を求める。

12月19日 県が原子力損害対策協議会を開催。文部科学省の担当者が、対象区域の選定理由などを説明。

12月25日 東白川郡、白河市、西白河郡の市町村

出。区域拡大を要請する。

1月25日 東京電力本社への要求活動を実施。



対策本部長の白河市長が東電へ要望書を提出

2月21日

文部科学省および東京電力と交渉活動。

3月22日

第2回東京電力との交渉活動。

東北電力から、県南地域住民のうち、妊婦および18歳以下の子どもを対象に一律20万円の定額賠償。県の「原子力被害応急対策基金」に30億円を拠出する考えが示される。

3月27日

原子力損害賠償に関する県南9市町村による会議を開催。

3月29日

原子力損害賠償対策本部会議を開催。

県南地方9市町村・署名集約数 (単位:人)

市町村数	人口	署名者
埴町	9,844	7,644
棚倉町	15,167	13,131
矢祭町	6,476	5,982
鮫川村	4,063	3,914
東白川地方合計	35,550	30,671
白河市	64,087	56,740
西郷村	15,627	11,356
泉崎村	6,473	5,968
中島村	5,270	3,672
矢吹町	17,920	14,711
西白河地方合計	109,377	92,447
東西白河地方合計	144,927	123,118

※西郷村、中島村は署名対象者を20歳以上とした。

12月22日 長や議会議員による「原発事故賠償指針の見直し緊急決起集会」を開催。

12月22日 文部科学省、経済産業省、各政党本部および県選出国会議員に対し要望活動を実施。

平成24年1月18日

白河地方・会津地方による「原子力損害賠償対策本部」を設立。

1月19日

平野博文・文部科学大臣に対し、損害賠償区域見直しの要望書および署名を提出。



東白川地方町村会長(棚倉町長)と西白河地方町村会長(西郷村長)が平野文部科学大臣に要望書を提出

1月25日 県南の妊婦と18歳以下を20万円とした東京電力の賠償に、県が給付金を上積みして支給する県の案を受け入れる。給付時期については、県議会の議決を経て夏以降になる見通し。

4月4日

対策本部が佐藤知事へ「白河地方・会津地方の原子力損害賠償に対する支援等に関する要望書」を提出。



「東電への請求の継続を求める」対策本部会議で意見を述べる菊池基文町長

【避難区域外の住民への東電の賠償額】

県北、県中、いわき、相双の一部	妊婦、18歳以下	避難した場合60万円
		避難せずにとどまった場合40万円
	上記以外の住民	8万円

【県南・会津地方への県の給付と東電の賠償額】

		県の給付	東電の賠償	合計
県南	妊婦、18歳以下	10万円	20万円	30万円
	上記以外の住民	4万円	—	4万円
会津	妊婦、18歳以下	20万円	—	20万円
	上記以外の住民	4万円	—	4万円

県の提案を受け入れ、県南地方は妊婦・18歳以下は合計30万円、それ以外の住民は4万円が給付されることとなりますが、今後も引き続き、県北・県中など23市町村と同額の賠償を求めていきます。

署名活動へのご協力

ありがとうございました

安否確認や話し相手に

高齢者見守り事業訪問員に委嘱状を交付
平成23年2月から活動を開始している埴町高齢者見守り事業。新たに松本倫子さん(上石井)が訪問員になりました。委嘱状交付式は4月17日(火)、町役場応接室で行われ、菊池基文町長が委嘱状を手渡しました。なお、松本さんは埴地区(埴6区・上波井)を担当します。27人になった訪問員。ひとり暮らしの高齢者を見守ります。

■問い合わせ
健康福祉課高齢者支援係
☎43-2227



松本倫子さん

笑顔でサービスに努める

道の駅はなわ・新駅長へ辞令を交付
埴町振興公社が運営する道の駅はなわ天領の郷では、鈴木公雄駅長が3月末で退任。後任の駅長には、公募の中から遠藤公一さん(柳町)が選ばれ就任しました。辞令交付式が4月15日(日)、同施設研修室で行われ、社長である菊池基文町長が辞令を手渡しました。遠藤新駅長は「町のため、町民のため、道の駅関係者のために力を尽くしたい。また、笑顔でサービスし、町のPRに努めたい」と抱負を述べました。



【PROFILE】
遠藤 公一(えんどう・こういち)
柳町・56歳
はなわふれあいスポーツクラブ理事長および埴町体育協会副会長を務めている。



今後の活用を図る(関係者によるテープカット)

駅前シンボルに

町地域公共交通活性化協議会など関係者が出席。菊池基文町長のほか武藤泰典・福島交通株式会社取締役副社長など5人がテープカットを行い、施設の完成を祝いました。木造平屋建てガルバリウム鋼板葺、建築面積57・13平方メートル、待合室、トイレ、事務所、コミュニティスペースが設置されたこの施設。なお、待合所看板材料(桧)は有明社常務工務店、看板揮毫は清水書道会・鈴木清峰会長、液晶テレビ(1台)および電波時計(2個)は東京聖栄大学学生会より寄贈等を受けました。バス待合所としてだけではなく、町民の交流の場としての活用が期待されます。

大町コミュニティセンター・はなわバス待合所が完成

駅前交差点・旧福島交通バス待合所跡地に建設を進めていた「大町コミュニティセンター・バス待合所」が完成しました。落成式が4月5日(木)に行われ、

平均値は0.16ミリシーベルト

個人積算線量計(バッジ式線量計)測定結果(第2回)の概要

- 測定期間
平成23年12月1日～平成24年2月29日
- 対象者
幼稚園、小学校、中学校の園児・児童・生徒
- 回収日
平成24年2月29日
- 回収率
96.2%、測定者919人
- 測定結果
平均値0.16ミリシーベルト
不検出134人
(0.05ミリシーベルト未満)

町内の幼稚園、小学校、中学校の園児・児童・生徒に配布した、個人積算線量計の測定結果の概要をお知らせします。
測定対象期間は、平成23年12月1日から平成24年2月29日までで、この期間の埴町の自然放射線量を除いた数値が測定結果になっています。
測定総数は919人で回収率は96.2%。平均値は0.16ミリシーベルトでした。
今回の測定結果について、福

1. 測定結果について
今回の測定結果をみると、健康影響が心配されるレベルの線量の方はいませんでした。
2. 年間1ミリシーベルトについて
 unnecessary放射線被ばくを避けるという視点から、年間被ばく量1ミリシーベルト以下が掲げられていますが、これは安全と危険の境界を示すものではありません。
運動不足や喫煙などの他の健康リスクと比較しても、そのリスクは小さいものとなっています。
3. その他
今回測定した時期より以前(発災後7月11日から4カ月間)の個人線量については、現在行っている県民健康管理調査の基本調査に回答いただければ、推計値が個人へ通知されます。

■問い合わせ
健康福祉課健康推進係
☎(43)21155

農産物などの放射線量を知る

放射性物質測定を実施しています

現在町では、農産物・土壌・飲料水などの放射線を測定する「ベクレルモニター」を導入し、検査を実施しています。

- 検査項目
自家用野菜、一般家庭にある農産物、飲料水(簡易水道は除く)、母乳、土
- ※出荷する農産物などについては、生産者個人で他の検査機関でのお申し込みになります。
- 検査費用
無料
- 検査対象者
埴町に住民票を有する方またはそれらにより組織された団体

- 受付方法および検査検体について
○埴町放射性物質測定検査場(板庭元薩摩酒造塙蒸留所)へ電話で予約が必要です。なお、1回に予約できるのは、1世帯2検体です。
受付時間 午前9時～午後5時(月・金曜日、祝日除く)
- 検査は、地域ごとに曜日を指定して実施します。
(1日あたり、16検体を検査)
- 検査結果は、後日申請者へお知らせします。
- 問い合わせ
放射性物質測定検査場(元薩摩酒造塙蒸留所)
☎(43)1050
まち振興課農林振興係
☎(43)2118



4月から適用されています
厚生労働省は、より一層の安全と安心確保のため、食品から摂取する放射性セシウムの年間被ばく許容上限を厳格化。5ミリシーベルトから1ミリシーベルトに引き下げました。これにより、食品に含まれる放射性物質の基準値も見直されました。

▼食品の基準値(単位:ベクレル/kg)

暫定規制値(これまで)		新基準値(4/1~)	
食品群	規制値	食品群	規制値
飲料水	200	飲料水	10
牛乳・乳製品	200	牛乳	50
野菜類	500	一般食品	100
穀類		乳児用食品	50
肉・卵・魚・その他			

注: 乳製品は「乳製品」に分類され、穀類は「穀類」に分類され、肉・卵・魚・その他は「肉・卵・魚・その他」に分類され、それぞれ「統合」または「新設」の扱いとなります。

新基準で厳格化 食品中の放射性物質の基準値

改正の要点
○新基準値上限の放射性物質によって、仮に「飲料水」「牛乳」「乳幼児食品」の汚染割合が100%、「一般食品」の汚染割合が50%であると仮定しても、各世代間において年間1ミリシーベルト以下になるように基準値が設定されており、十分に安全性に配慮しています(現実的にはこのような放射性物質の汚染は想定されません)。
○「飲料水」は、全ての人が摂取するものです。代替えがきかず、摂取量も多いため、基準値が低く設定されています。
○乳幼児は、放射性物質に対して特別な配慮が必要なため「乳幼児食品」の分類を新たに設けています。子どもの摂取量が特に多い「牛乳」の基準値も低く設定されています。
○新基準値適用まで準備期間が必要な、米・牛肉・大豆については、経過措置があります(米・牛肉は10月1日、大豆は平成25年1月1日から新基準を適用)。

町では、地球温暖化の防止など地球環境を守るため、環境への負担が少ない太陽光発電システムを設置する方に対して、予算の範囲内において補助金を交付します。

問い合わせ
まち振興課地域づくり係 ☎(43)2112



エコな生活、はじめませんか 住宅用太陽光発電システム補助金

■申請受付期間

平成25年3月31日まで

※申込額が予算の上限(年60件分)に達した時点で受け付けを終了します。

※申請は工事着工前に行ってください。工事着工後の申請は無効となります。

※3月31日までに実績報告の提出が必要ですので、工事完了の日程等に十分ご注意ください。

■補助金額

太陽電池の公称最大出力1kw当たり5万円(上限4kw・20万円)。
※最大出力はkwで表示し、小数点以下第3位以下は四捨五入。
※補助金額は千円未満切り捨て。

■補助対象者・システム

町内の住宅(既存・新築)に太陽光発電システムを設置しようとする方。

する方で、次の全ての条件が必要です。

- (1) 低圧または高圧配電線と逆潮流有りで連系し、かつ太陽電池の公称最大出力が10kw未満の太陽光発電システムで、電力会社と電力供給契約を締結した方。
- (2) 設置に関して法令、条例等に違反していないこと。
- (3) 町税を滞納していない方。
- (4) 過去に町から同様の補助金交付を受けていない方。

■注意

- (1) 中古品は補助対象外です。
- (2) 補助金申請をする方は、工事着工前に、まち振興課地域づくり係へ申請してください。

■その他

申請書類など詳しいことはお問い合わせください。

行政区長会長に萱原 寧さんを選任 平成24年度行政区長会議が開催されました



区長を代表し、菊池町長から委嘱状を受ける
塙一区長の根本信雄さん

平成24年度塙町行政区長会議が4月12日(木)、塙農村労働福祉会館大研修室で行われ、菊池基文町長が行政区長43人に委嘱状を交付しました。

会議終了後、塙町行政区長連合会総会が行われ、行政区長会長に萱原寧さん(赤坂区長)が選任されたほか、副会長3人、理事8人が選出されました。行政区長の皆さんには、区の運営はもとより、町と地域のパイプ役として今後ご協力をいただくこととなります。

平成24年度行政区長(敬称略)

区名	氏名							
塙一	根本 信雄	東河内二	藤田 亘	大 畑	神永 重美	川上二	角田 榮良	
塙二	小澤富士雄	水 元	宮崎 健二	田 代	佐藤 真治	川上三	緑川 洋	
塙三	吉田 啓治	八 幡	大瀧 伸一	那 倉	緑川 光男	○川上四	園部 清司	
○塙四	佐藤 正光	◎赤 坂	萱原 寧	矢 塚	藤崎 進一	※上石井	石川 忠徳	
※塙五	石澤 孝一	常世中野	吉成 家昌	※片 貝	鈴木 新一	※稲 沢	西野 英彦	
塙六	大橋 松治	竹之内	下重 嘉輝	折 籠	鈴木 廣壽	○台 宿一	吉成 公男	
上 洪井	小室 浩	板 庭	深谷 長俊	湯 岐	高縁 武文	伊 香	鈴木 真	
堀 越	佐藤 光男	中 塚	金澤 治雄	木 野 反	益子 義臣	※植 田	金澤 久光	
小 高	青木 実	田 野 作	星 康廣	前 田	近藤 智紀	真 名 畑	緑川 昌市	
※西河内	小松 孝行	山 形	星 正人	森之根	鈴木 一	台 宿二	鈴木 幹男	
東河内一	永野 忠	※大 藤	鈴木 和弘	※川上一	佐藤 伸男			

会長 ○副会長 ※理事

まだ申請が済んでいない方はお早めに 地震で被災した住宅の補修費用を補助します

東北地方太平洋沖地震により生活基盤である住宅に著しい被害を受けた方に対し、補修に係る経費の一部を補助します。

■対象住宅(全ての条件が必要)

- ① 東北地方太平洋沖地震で被害のあった住宅
- ② 塙町に住所を有する方が居住している住宅
- ③ 被害者生活再建支援法に基づく支援対象に該当しない住宅

■対象者

- ① 居住している世帯員の代表者または補助対象となる住宅を所有している方
- ② 世帯員全員が地方税などを滞納していないこと

■対象経費

- ① 東北地方太平洋沖地震で損壊した箇所の補修に係る費用。すでに住宅の補修が完了している場合も対象になります。

② ①に掲げる経費が10万円以上の場合に限り補助対象になります。

■補助金の額

補助対象となる工事金額の2分の1以内(上限10万円)

■申請に必要な書類

- ① 補修内容を明確にした見積書の写し
- ② 損壊した箇所の写真

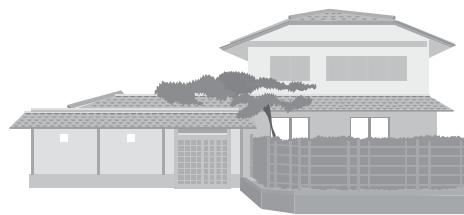
■申請期限

5月31日(木)

■手続き・問い合わせ

まち整備課まち管理係
☎(43)2117

5月31日までに申請を!



地域から交通事故をなくす 交通安全専門員に辞令交付

交通安全専門員への辞令交付式が4月2日(金)、役場応接式で行われました。菊池基文町長から、佐藤長一さん(川上)および松本泉さん(上石井)に辞令が交付されました。佐藤さんは8期目、松本さんは2期目になります。地域および子どもたちの交通安全のためにご協力いただきます。なお、任期は平成25年3月31日までです。



佐藤長一さん 松本 泉さん



益子喜信さん 七宮貞勝さん

地域の美化に努める 環境美化推進員に辞令交付

環境美化推進員への辞令交付式が4月2日(月)、役場応接式で行われました。菊池基文町長から、益子喜信さん(川上)、七宮貞勝さん(台宿)に辞令が交付されました。益子さん・七宮さんともに3期目になります。今後、地域の美化活動や不法投棄のパトロールなど、ご協力をいただくこととなります。なお、任期は平成25年3月31日までです。

親切丁寧に対応します 心配ごと相談員に委嘱状交付

心配ごと相談員への委嘱状交付式が4月2日(金)、塙農村労働福祉会館で行われました。菊池基文町長から、生方と廣さん(常世北野)に委嘱状が交付されました。任期は平成26年3月31日までで、生方さんは4期目になります。

心配ごと相談は、毎週月曜日(祝祭日を除く)午前10時から午後3時まで、塙農村労働福祉会館で行っています。

■問い合わせ

塙町社会福祉協議会
☎43-2154



生方と廣さん



伝達を受けた長男の戸井田英寿さん

長年にわたり町の発展に貢献 戸井田五郎さんが旭日単光章を受章

元町議会議員の戸井田五郎さん(台宿・88歳)が高齢者叙勲・旭日単光章を受章されました。伝達式が4月11日(水)、埴農村勤労福祉会館で行われ、樵隆男・県南地方振興局長が代理出席した長男の英寿さんへ伝達しました。五郎さんは昭和59年に町議会議員に当選以来、3期12年平成8年までの間在職し、地域および町行政のために尽力。また、農業委員など各種委員も務められました。



多彩なイベントで盛り上げます 「燃ゆる風呂山百年祭」第2回実行委員会を開催

大正元年、埴青年会員が町の希望の木として植えた風呂山公園の山ツツジ。植樹して満百年になります。4月28日から5月13日まで「燃ゆる風呂山百年祭」を開催します。その第2回実行委員会が4月17日(火)、埴農村勤労福祉会館で行われました。5月2日(水)に開催する記念式典や各種イベントなどについて内容を協議しました。百年祭では、苗木のプレゼントやさつき愛好会による園芸コーナー、各種テントが出展されます。その他多数イベントを開催し、皆さんをお待ちしています。

税金は払うというより納める心 平成24年度埴町納税貯蓄組合長大会

平成24年度埴町納税貯蓄組合長大会が4月20日(金)、埴農村勤労福祉会館大研修室で行われました。大会では、全163組合の中から下記の3組合が優良納税貯蓄組合として表彰され、菊池基文町長から表彰状が授与されました。なお、大会終了後、埴町納税貯蓄組合連合会総会が開かれ、今年度の事業について協議しました。

■優良納税貯蓄組合表彰(敬称略)

組合名	組合長名
駅南	鈴木 宏
川下第一	鈴木 昭雄
宮田	鈴木 いつ子



14 世帯が健康優良家庭表彰を受賞

埴町国民健康保険健康家庭表彰規程に基づき14世帯が健康優良家庭として表彰され、該当世帯に町から表彰状と記念品が贈呈されました。これは、該当期間に療養等の給付を受けず、さらに国民健康保険税を完納した家庭に贈られるものです。

■平成23年度表彰受賞世帯

(敬称略・掲載を希望しない方は除く)

- 稲村 文夫(台宿)
- 鈴木 文男(伊香古宿)
- 金沢 國明(植田)
- 藤田 隆男(真名畑)
- 金沢 澄子(上石井)
- 吉成 敬子(柳町)
- 安部 守(上渋井)
- 小松重勝(勝広)(堀越)
- 近藤 喜和(川上)
- 石井 好正(大蔵)
- 鈴木 利明(片貝)
- 鈴木 里美(山形)

■問い合わせ

健康福祉課国保係 ☎43-2115

町の未来を決めるのは、あなたの一票

埴町長選挙

投票日 6月24日(日)

6月24日(日)は、埴町長選挙の投票日です。

一票の重みを再認識し、棄権せずに必ず投票しましょう。

■問い合わせ 選挙管理委員会 ☎(43)2111

■告示日 6月19日(火)

■投票日 6月24日(日)

■投票日

午前7時～午後7時まで

※那倉、片貝投票所は午後6時

時まで

■投票場所

町内8カ所

(入場券で確認をお願いします)

※入場券は6月19日(火)に発

送予定です。

■期日前投票をご利用ください

仕事などの理由により当日投票できない方は、期日前投票ができます。

■期間 6月20日(水)～6月23日(土)まで

■時間

午前8時30分～午後8時まで

■場所

埴農村勤労福祉会館
1階 小会議室

■郵便等による不在者投票ができます

身体に重い障害があつて投票に行けない方が、自宅などから郵送で投票できる、郵便等投票

(在宅投票)制度があります。詳しくはお問い合わせください。

公正な選挙を行う

選挙管理委員および補充員が決定

4月4日(水)に開催された第2回埴町議会臨時会において、埴町選挙管理委員および補充員が決定。4月11日(水)に行われた選挙管理委員会において、委員長および委員長職務代理者が決定しました。

■委員

- 益子 和良 (委員長・本町)
- 生方 初男 (委員長職務代理者・常世北野)
- 鈴木 常一 (川上)
- 鈴木 勝利 (伊香)

■補充員

- 鈴木 恒之 (真名畑)
- 安津畑輝男 (堀越)
- 小峰 勝重 (那倉)
- 大縄 吉夫 (栄町)



益子和良・委員長



生方初男
委員長職務代理者



鈴木常一・委員



鈴木勝利・委員

新たな歴史への第一歩

笹原小学校・統合後初めての入学式



①児童・教職員のほか、来賓や保護者など約120人が出席した入学式 ②夢と希望を胸に入学した新入生 ③旧片貝小の児童も元気よく笹原小の校歌を歌いました ④「楽しい小学校生活を過ごしてくださいね」郷田均校長から教科書を受け取る鈴木萌加ちゃん

アサヒビールがLED照明灯を寄贈



風力発電機と太陽電池で発電するLED照明灯

アサヒビール株式会社は4月10日(火)、笹原小にハイブリッドLED照明灯を寄贈しました。これは、アサヒスーパードライ「うまい!を明日へ!」プロジェクト第5弾として行われたもので、県内の小学校5校に寄贈。同校では、児童たちの環境意識向上や学習活動に役立つことができるとして感謝していました。

笹原小・片貝小が築いた伝統の融合

笹原小学校で4月6日(金)、片貝小学校と統合後初めての入学式が行われました。同校体育館で行われた式。新入生11人の入学を祝いました。片貝小(本校および矢塚分校)から編入した児童15人も、笹原小の真新しい制服を着て出席し、校歌を元気よく歌っていました。今年度、創立140周年を迎える笹原小学校。児童たちのたくさんの笑顔で新たなスタートを切りました。

町職員採用候補者試験を実施します

受験手続きや受付期間などの詳細については、決まり次第、町ホームページに掲載する予定です。

問い合わせ 総務課総務係 ☎43-2111

大学卒程度

- 試験職種および採用予定人数
行政職 2名程度
- 受験資格
昭和58年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた者。(学歴は問いません)
- 試験の方法
大学卒業程度の学力試験を行います。
- 第1次試験 教養試験および専門試験(5肢択一式筆記試験)
- 第2次試験 人物(面接)試験および作文試験
- 試験期日
○第1次試験 7月22日(日)
○第2次試験 第1次試験合格者に通知
- 試験会場
○第1次試験 福島大学
○第2次試験 第1次試験合格者に通知

資格免許職

- 試験職種および採用予定人数
幼稚園教諭 1名程度
- 受験資格
昭和52年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた者。(学歴は問いません)
幼稚園教諭および保育士の資格、免許を有する者または平成25年3月までに取得見込みの者。
- 試験の方法
短大卒業程度の学力試験を実施します。
- 第1次試験 教養試験および専門試験(5肢択一式筆記試験)
- 第2次試験 人物(面接)試験および作文試験
- 試験期日
○第1次試験 7月22日(日)
○第2次試験 第1次試験合格者に通知
- 試験会場
○第1次試験 福島大学
○第2次試験 第1次試験合格者に通知

なお、地方公務員法第16条の欠格事項に該当する方は、受験できません。

1. 成年被後見人または被補佐人
2. 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたはその執行を受けることがなくなるまでの者
3. 当該地方公共団体(埴町)において、懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
4. 人事委員会または公平委員会の委員の職にあって、地方公務員法第五章に規定する罪を犯し刑に処せられた者
5. 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した者



「だいすき、パパ!」

マーガレット・ワイルド/文
スティーブン・マイケル・キング/絵
さんべりつこ/訳
主婦の友社

図書館情報



5月の
テーマ

●ものがたり

「わたし(ぼく)のこと好き?」子育てをしていると、こう子どもに聞かれることが幾度となくあります。忙しくしていると、ついそっけなく答えてしまうこともあります。子どもにとってそれは大切な儀式なのかもしれません。親は子どもを愛することは当然だと思っても、子どもは愛されていることを何度も繰り返し確かめ、安心しながら成長するものなのかもしれません。この絵本のこぶたくんはパパに叱られて寂しくなり、いろいろな友達に自分のことが好きかと聞いて歩き回りますが、そのたびに「君をもっと好きな人がいるよ」と教えられます。でも、こぶたくんはそれが誰なのか全く分からないのですが・・・。

同じ作者の絵本、「だいすき、ママ!」もお薦めです。

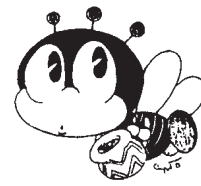
お父さん・お母さんの本
図書館では毎月テーマを決め、そのテーマに関する本を集めたコーナーを設けています。今月は、その中から一冊の本を紹介いたします。なお、希望する本が貸し出し中の場合、予約もできます。
☎(43)0808



はなわふれあい スポーツクラブ通信

5月号

はなわふれあいスポーツクラブでは、
随時、会員を募集しています。
一緒にスポーツでさわやかな汗を流
しませんか。
詳しくは下記までご連絡ください。



マナビ はなわ

～埴町生涯学習だより～ 5月号

発行：埴町教育委員会生涯学習課

問い合わせ

■生涯学習課

☎ 43-2644

■埴町公民館

☎ 43-0320

■まナビとファインダー URL

http://www.manabito.fks.ed.jp/win.html

園児・小学生対象

○キッズクラブ（基礎運動教室）

日時：毎週月曜日

園児コース 15:20～16:10

小学生コース 16:15～17:05

会場：埴町営体育館アリーナ

小学生対象

○サッカー教室

対象：小学生

日時：要問い合わせ

会場：埴小学校校庭

中学生対象

○野球教室

日時：毎週水曜、木曜日

18:30～20:30

会場：埴町営グラウンド

○バレー教室

日時：毎週火曜日 19:00～21:00

会場：埴中学校体育館

○バレーボール中学校合同練習会

日時：5/19(土)

場所：埴町営体育館

シニア対象

○グラウンド・ゴルフ

日時：毎週水曜日 9:30～11:30

会場：要問い合わせ

※5/2,6/6は初心者向け教室も同時開催

○卓球

日時：毎週水曜日9:30～11:30

会場：埴町営体育館 剣道場

※5/10,6/7は初心者向け教室も同時開催

○カローリング

日時：毎週水曜日 9:30～11:30

会場：埴町営体育館 アリーナ

※5/11,6/1・8・15は初心者向け教室も同時開催

一般対象

○バドミントン

日時：毎週木曜日 19:00～21:00

19:00～21:00

会場：埴町営体育館 アリーナ

※19:00～20:00に初心者向け教室も同時開催

携帯電話から
今すぐアクセス！



URL <http://hanawa-fsc.jp>

埴町大字埴字桜木町80(埴町公民館内)

☎0247-43-2644 FAX43-1883

mail: sgs@town.hanawa.fukushima.jp

はなわふれあいスポーツクラブ事務局では4月よりクラブマネジャーを1人増員し、ますますパワーアップしました。今月号では、その新マネジャーを皆さんに紹介します。



氏名：鈴木佳代子

ニックネーム：かよちゃん

血液型：AB型

誕生日：10月

住所：田代（会津若松市出身）

資格：栄養士

趣味：ウォーキング・ヨガ（有酸素運動）、バドミントン、登山にも挑戦してみたい！

好きな食べ物：馬刺

好きな言葉：不器用な人間は苦勞するけど、徹してやれば、器用な人間より不器用な人間の方が最後は勝つ

（野村克也）

新クラブマネジャー紹介

かよちゃんの おすすめ教室コーナー



ノルディック・ウォーキング教室

2本のポール(ストック)を使って歩くだけでフィットネスエクササイズになっちゃいます。ポールが歩行の補助になるので足腰にも負担が少なく、老若男女におすすめ!!

サークル活動

○スマイル（バドミントン）

日時：毎週火曜日 10:00～12:00

○さわやかクラブ（レクダンス）

日時：毎週火曜日 10:00～12:00

○6区卓球サークル

日時：毎週水曜日 13:30～15:00

○埴町インディアカ協会

日時：毎週水曜日 19:00～21:00

○奥州ずっこけ隊（よさこい）

日時：毎週木曜日 19:00～21:00

○植田バレー

日時：毎週土曜日 19:30～21:30

○Rabona hanawa soccer club

日時：5月の奇数日 15:30～19:00

○ノルディックウォーキング教室

日時：6/2(日) 9:00～12:00

会場：道の駅はなわ発着

内容：町内ウォーキング

○インディアカ大会

日時：6/3(日)

会場：埴町営体育館

○男のダイエット塾

対象：男性

場所：埴町公民館

○須賀川大森スポーツクラブとの交流会

対象：5/26(土)

内容：カヌー体験
グラウンド・ゴルフ



バレーボール教室始まる

○対象
町内の小学校
3～6年生

○開催日時
毎週金曜日
午後4時半～6時半
（変更・中止の場合は、
事前にご連絡します）

○会場
埴町営体育館アリーナ

○服装・持ち物
運動できる服装・体育館シューズ・タオル・スポーツ飲料など

※必要と思われる物は、各自ご持参ください。

○申し込み・問い合わせ
生涯スポーツ係
☎(43)2644

昨年度開催され、好評のうちに終了したバレーボール教室。今年度も引き続き開催されることになりました。小学校3年生から6年生までを対象に、バレーボール経験者の指導のもと、初心者にも分かりやすい練習で楽しく上達することができそうです。子どもたちにとっては、学校を越えた友達を作れることも魅力の一つのようです。参加している子どもたちに話を聞くと、「試合が楽しい」「先生達が優しく教えてくれる」「みんなで話し合ったり協力したりしてプレイするのが楽しい」と皆笑顔で答えてくれました。

バレーボール教室は随時参加者を募集中。興味がある方はぜひ生涯スポーツ係までお問い合わせください。

ながよしルーム参加者募集

5月は「心がフッと軽くなる子育て講話」です。

今月のながよしルームは、子育てが楽しくなるおはなし会です。カウンセラーの金澤弘子先生の講話を聞いて、子育てや普通の生活で感じている不安や心のモヤモヤにさよならしましょう！

個別の相談にも応じます。
*ながよしルームは、0歳から幼稚園入園前のお子さんとその保護者を対象にした子育て講座です。

子育てサポーターも一緒に活動しますので、どなたでもお気軽にご参加ください。初参加者、大歓迎です。

日時：5月11日(金) 午前9:45～

場所：埴町公民館 1階和室

講師：元スクールカウンセラー 金澤弘子さん

持ち物：おやつ・飲み物など（お子さんに合わせて）

問い合わせ：埴町公民館 ☎43-0320

町教育委員との対話の日

あなたも町教育委員さんと話してみませんか。埴町教育委員会では、町民の皆さまと教育についての対話を持ち、教育行政に生かし改善したいと考えています。

町の教育について聞いてみたいことや知りたいことなど、下記の時間中であればいつでも教育委員さんと懇談することができます。

町民の方であれば、どなたでも参加できます。ぜひお気軽にご来談ください。

日時：毎月1回 13:30～15:00 5月は24日(木)

場所：埴町公民館

※詳しい内容や6月以降の開催日は、1P告知端末においてその都度お知らせします。

情報くらしの報

役場の電話番号
 ☎ 0247-43-2111(代表)
 役場のFAX
 0247-43-2116
 町のホームページアドレス
<http://www.town.hanawa.fukushima.jp/>

町のメールアドレス
 soumu@town.hanawa.fukushima.jp
 ※意見や要望のある方はご利用ください。

【直通電話番号】
 総務課 ☎ 43-2111
 町民課 ☎ 43-2113
 ☎ 43-2114
 健康福祉課 ☎ 43-2115
 包括支援センター ☎ 43-2224
 ☎ 43-2227
 まち振興課 ☎ 43-2112
 ☎ 43-2118
 まち整備課 ☎ 43-2117
 水道課 ☎ 43-2148
 会計室 ☎ 43-2149
 埴保育園 ☎ 43-0377
 議会事務局 ☎ 43-2150
 農業委員会 ☎ 43-2119
 教育委員会 ☎ 43-4050
 学校教育課 ☎ 43-2644
 生涯学習課 ☎ 43-0320
 公民館 ☎ 43-0808
 図書館 ☎ 43-0188
 給食センター ☎ 43-0378
 東白衛生組合 ☎ 43-0378

相談

電話や面接による「がん無料相談」

日本対がん協会

日本対がん協会は、医師による「がんの面談・電話による相談」を実施しています。また、協会独自にソーシャルワーカー・看護師による「がん相談ホットライン」を設けています。お気軽にご相談ください。

■専門医によるがん無料相談
 ※事前予約制です。

☎ 03(3562)8015

■がん相談ホットライン

※予約不要

☎ 03(3562)7830

■問い合わせ

公益財団法人日本対がん協会
 ☎ 03(5218)4771

■心の健康相談

埴南保健福祉事務所

さまざまな心の悩みでお困りの方、またはその家族の方を対象に「心の健康相談」を開催します。相談は無料で、秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

■対象者

うつ状態・不登校・ひきこもり・認知症・お酒がやめられない・自殺に関する心の悩み・その他の心の悩みでお困りの方、またはその家族の方など。

■日程

○6月21日(木)
 ○7月19日(木)
 ○8月2日(木)

試験

国家公務員採用試験

人事院東北事務局

仙台国税局では、バイタリティーあふれる税務職員を募集しています。税務職員は、国の財政を支える重要な仕事を担い、国税局や税務署において、調査・徴収や指導などを行う税のスペシャリストです。

■受験資格

1. 試験年度の4月1日において、高等学校または中等教育学校を卒業した日から起算して3年を経過していない者および試験年度の3月までに高等学校または中等教育学校を卒業する見込みの者。

お知らせ

検診受診希望調査を実施します

健康福祉課

☎ 022(263)1111

今年度の各種検診の申し込みを行います。各行政区長さんを通じて、世帯ごとに申し込み台帳を配布します。

年齢によっては、がん検診が無料になる方もいますので、記入例などをご覧になり忘れずにお申し込みください。

■申込期間

5月11日(金)

～5月25日(金)

■問い合わせ

健康福祉課健康推進係

☎ (43)2115

■第1回飼い犬等のしつけ方教室

埴南保健福祉事務所

飼い犬等のしつけ方教室を年4回開催する予定です。2回目以降の日程等については、決まり次第お知らせします。

■日時

○6月8日(金)・学科
 午前10時～正午

○6月15日(金)・実技
 午前9時30分

～午前11時30分

■会場

埴南保健福祉事務所
 別棟会議室

■内容

学科・犬の飼い方・しつけ方の講義

実技・飼い犬同伴でのしつけの手法

■問い合わせ

埴南保健福祉事務所

衛生推進課

☎ 0248(22)5487

■園開放を実施します

埴保育園

親子で遊んだり、親同士の情報交換の場、園児や保育士との交流の場として、保育施設を開放します。子育てに関する相談にも応じますので、お気軽にご来園ください。

■開放日

※変更する場合があります。

○5月24日(木)

○6月14日(木)

○7月5日(木)・19日(木)

○8月2日(木)

○9月6日(木)・20日(木)

○10月6日(土)・25日(木)

○11月15日(木)

○12月13日(木)

○平成25年1月17日(木)

○2月21日(木)

■時間

午前9時～午前11時

■場所

埴保育園

おくやみ申し上げます

3月16日から4月15日までの届け出

亡くなられた方	年齢	住所
鈴木 正則 さん	58歳	蔵代野内
鈴木 フヂイ さん	87歳	大田常世北
宮崎 幸夫 さん	81歳	西河内
小川 英子 さん	61歳	片貝町
菊池 ヒサ子 さん	77歳	本常世北
中島 トシ さん	84歳	川上町
佐藤 はる さん	91歳	大植田香
天野 トシ さん	97歳	上板内
原 武光 さん	78歳	大植田香
有戸 トシ さん	88歳	大植田香
島田 友治 さん	87歳	大植田香
青砥 フミ さん	93歳	大植田香
金沢 正次 さん	57歳	大植田香
茂垣 正明 さん	76歳	大植田香
青砥 キミ さん	98歳	大植田香
大野 政美 さん	94歳	大植田香

※この欄に掲載を希望されない方は、届け出の際に窓口にお申し出ください。
 ※「こんにちは赤ちゃん」は19ページに掲載してあります。

5月1日から31日は、福島さわやか行政相談キャンペーンです

次の日程で、相談所を開設しますので、お気軽にご利用ください。
 ※費用は無料で、秘密は守られます。

■日時 5月16日(水)
 午前10時～午後3時
 ■場所 埴農村勤労福祉会館小研修室

埴町担当の行政相談委員



氏名 和田 俊道
 住所 大字埴字上町87
 ☎ 43-0599

行政相談委員は、総務大臣が委嘱するもので、国の仕事をはじめ、NTTなどの特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付けています。

さあ今日も水と元気が蛇口から

第54回 水道週間

6月1日(金)～7日(木)までの1週間

毎日の生活に欠かせないおいしい水道水は、私たちの生活を守る大切な財産です。

■問い合わせ
 水道課水道係 ☎ 43-2148

町では、公共下水道や農業集落排水施設の整備区域外で合併処理浄化槽を設置する場合は、予算の範囲内において、人槽区分により補助します。

また、既存の単独処理浄化槽を撤去して合併処理浄化槽を設置する場合は撤去費用補助として6万円、くみ取り便槽を撤去して合併処理浄化槽を設置する場合は3万円を加算

■補助金額

○5人槽 354,000円

○7人槽 437,000円

○10人槽 672,000円

■注意事項

合併処理浄化槽の設置をお考えの方は、必ず事前に水道課までご相談ください。なお、国や県の補助を受けるため、平成24年度の補助基数は18基を予定しています。予定基数になりましたら受け付けを終了します。

※水環境保全のため、公共下水道および農業集落排水の整備区域の方は各施設への早期接続をお願いします。

■問い合わせ

水道課農業集落排水係

☎ (43)2148

TOWN TOPICS

子どもたちの健やかな成長と復興を願って

— 地域の空に30匹のこいのぼり泳ぐ(小高) —



※同会では、家庭で眠っているこいのぼりの提供を受け付けています。提供いただける方は、すずき建材土木(堀越)までご持参ください。

5月5日・子どもの日を前にした4月15日、小高地内・大栄鋳業プラント跡地に30匹の「こいのぼり」が上げられました。今回で3回目。昨年までは鈴木友美さん夫妻と小松忠さん夫妻が行っていましたが、今年は会を結成。その名も「常勝気龍会(じょうしょうきりゅうかい)」。子どもたちの成長と復興を願い、メンバーの家庭にあったもののほか親戚・友人、地域住民の協力により提供を受けたこいのぼりを、会のメンバーが重機とクレーンを使って掲げました。地域の空に希望のこいが泳ぎました。次年度はもっと多くのこいのぼりを上げたいと、メンバー全員願っていました。

【常勝気龍会】※敬称略

名誉会長：鈴木友美 会長：小松 忠
会 員：小松重勝、小松照男、下重広次、
鈴木久美子、小松優子

復興の証し・八千代スイセン開花

— いわき市「田人アヤマ会」の皆さんが来町 —

いわき市田人町・緑川潔さんから譲り受け、昨年度の駅はなわ河川敷に植えられたスイセン。開花状況視察のため、緑川さんが代表を務める環境美化グループ「田人アヤマ会」20人が4月12日(木)に来町しました。当初20万球あったスイセン。台風による被害で4分の3が流され、その後新たに譲り受けた1万球を植え付けました。順調に成長し、黄色の花を咲かせ始めています。このスイセンは、緑川さんの亡き妻(千代さん)の思いと復興を願い「八千代スイセン」と呼ばれています。



多くの「目」で見守ります

— 塙工業高等学校「塙町こども見守り隊」身分証交付式 —

塙工高の新生74人に対する「塙町こども見守り隊」身分証交付式が4月11日(水)、同校格技場で行われました。これは、町教育委員会が毎年、塙工高の新生に委嘱するもので、今回で7年目になります。萩原照夫教育長が、新生代表の菊池裕志さん(機械科：1年3組)に身分証を手渡しました。裕志さんは「生徒一丸となって、子どもたちの安全確保に努めます」と、誓いの言葉を力強く述べました。町では、関係機関と一体となって地域の子どもたちを見守ります。



正しい交通マナーを守ります

— 高城小学校「交通教室」 —

高城小の交通教室が4月13日(金)、同校体育館で行われました。6年生に家庭の交通安全推進委員の委嘱が行われ、代表の松本咲輝さんが交通安全への誓いを述べました。その後、棚倉警察署植田駐在所・斎藤慎也巡査長のほか、町交通教育専門員の佐藤長一さん・松本泉さんが講師になり、自転車の正しい乗り方などの実技指導が行われました。また、正しい道路の歩き方や交通事故の恐ろしさについての講話もあり、児童たちは交通安全への意識を高めました。



お釈迦様の生誕を祝う

— 安楽寺で「花まつり」を開催 —

上町の安楽寺(和田俊道住職)で4月8日(日)、お釈迦様の誕生日をお祝いする法要行事「花まつり(灌仏会などとも言われている)」が行われました。親子連れや地域の人たち約50人が集まり、本堂内に飾られたお釈迦様の像に甘茶をかけ参拝しました。また、子どもたちの健やかな成長を願い「数珠繰り」が行われたほか、和田住職がお釈迦様の教えを説きました。その後、地元の薬師講と地蔵講のおばあちゃんによる「団子まき」が行われ、楽しい時間を過ごしました。



「食」と「農」への理解を深める

— JA東西しらかわ・食農教育補助教材贈呈 —

JA東西しらかわによる食農教育補助教材贈呈式が4月20日(金)、常豊小学校で行われました。これは、管内の各小学校(21校)5年生を対象に贈呈したもので、今回で5回目になります。鈴木昭雄代表理事組合長から児童代表の下重花鈴さんに教材が手渡され、佐藤涼太郎くんが「今後の学習に生かします」とお礼の言葉を述べました。JAでは、次代を担う子どもたちに食や農業についての理解を深めてもらうための取り組みを行っています。



まちの話題

あなたの地区の話題を提供してください。
取材に伺います。
※広報はなわに掲載された写真を希望される方は、
総務課☎43-2111までご連絡ください。

お待ちかね。あなたの出番です。
270
シリーズ



松本サタ子さん
(川上)

職業 主婦
趣味 庭仕事
好きな言葉 「水滴石をうがつ」

原発事故後の思い

昨年収穫した根菜類のセシウムは心配ないという地域の人たちの話だったが、私の作る畑は山際なので、一抹の不安もあり調べてもらった結果、幸い微量な検出であった。この測定値は、国・県のように精密ではなく、あくまで参考値であるとのこと。しかし、簡易であっても自分の作った物を検査できることはありがたく、一応安心した。それでも、小学生である3人の孫の無垢な体を思うとき、手放して調理し食べさせることには

今も抵抗を感じている。

昨年、ユズジャムを作った後で信夫山のユズの出荷停止を知り、早速検査してもらった結果、15・5ベクレルであった。係の人の話によると、生の場合はずっと高い数値とのこと。形態が違うので比較はできないが、やはり言われているように、除染の手段としてよく洗いをむき煮るといったことを念頭に調理しなければと思った。

それにしても、今もって出口のない汚染度の高い地域の人たちに思いをはせるとき、人災であることへの怒りが込み上げてくる。せめて願わくば、子どもたちの30年後に何もなきことを念じると同時に、幸運にも汚染度の低い埴町の住民であることに思いを深くしている。

昨年は不安で作付けに戸惑い、身が入らない野菜作りだったが、今年は一応の目安もつき、セシウムの吸収を図るゼオライトという物もあるので、また以前のように無農薬有機肥料で食の安全につながる野菜作りを精を出している。

小鳥のさえずりを独り占めにし、雲に思いを巡らす日もあって、物の芽を育む土は、老体にも明日への力を付けてくれるような気がする。最後に、「ノーマアフクシマ」のように生活への影響があらうとも、原発は絶対反対である。

■今回は天野史子さん川上です。



本多 永貴さん
(真名畑)

職業 会社員
趣味 自転車、釣り、音楽
好きな言葉 「一路順風」

私の仕事

子どものころの夢って何だっけなあ、なんとなく考えてみたら、今、私がやっている仕事に就くとはぜんぜん想像していませんでした。今、私は工場にて実際に物を作るという仕事をしています。私の『子どものころのやってみたい仕事リスト』を書き出してみたら、絶対にリストに載らないと思う仕事です。正直に言ってしまうと、仕事を探していたときにあまり深くは考えずに選んだ仕事でした。

経験のまったくない製造業、機械を相手にしなければいいかと思っていましたが、仕事は想像以上に大変でした。機械が相手といっても、さまざまな人が関わって機械を動かす

わけですから、当然人と人とのコミュニケーションが必要で。

最初のころ苦労したのは、会話の中に散りばめられた専門用語がさっぱりわからないことでした。何かを聞くにも、どう言えばいいのかわからない。何かがおかしいんだけど、その何かの説明できない。例えるなら、まるで違う国に放り出されたような気分です。こうしたものと日々悩んでいました。これは、続けるのは無理かなあと。しかし、上司や先輩方に恵まれ、いろいろなことを教わりながら成長し、分からなかった何かが分かるようになってきました。何を言っているのかさっぱり分からなかったことが分かるようになっていきました。

まだまだうまくいかないことも多いですが、分からなかったことを理解できたとき、物事がうまくいったとき、その瞬間に楽しいと思えるので、これから先も頑張っていけると思います。

■今回は緑川寿雄さん(台宿)です。

「東京塙会」からこんにちは

No.100



吉田 宏子さん
埼玉県入間市在住
(上町出身)

このコーナーでは、東京塙会の皆さんの懐かしい思い出やふふささとの思いを紹介しています。

季節、めぐり...

♪塙・笹原・石井村・高城共に手をつなぎ住民二万の団結の合併はなる塙町♪
突然でした。原稿用紙を前に、忘れていた歌を口ずさみました。昭和30年、小学生の私は昂った心で歌ったような気がします。記憶が定かではなく、図書館へ行きましたが、合併時の歌詞、行事等の記述は見つからず、遠い日の点と線はつながりませんでした。

45歳ころまで、父の生家・東河内炭釜で、両親、祖父母、伯父伯母と大勢のいとこに囲まれ、田んぼ、畑、山へとたくましく楽しい日を送りました。祖母は、夜になると昔話を語ってくれました。もっともとねだり、次々と尽きないほどに話してくれました。今は断片的に

しか思い出せず、とても残念です。

その後、両親、弟妹と塙町上町で暮らしました。愛宕山から羽黒山までチョウを追いかけて、一気に登ったりもしました。そのころは薪が主流でしたから、家の役に立とうと、弟、妹、近所の友達いっばいで杉葉ひろいもしました。

中学でテニスに出会い、当時はテニスシューズも知らずはだして出場する羽目になり、県大会で賞状を持つ足元ははだしでした。パートナーと誇らしそうに、恥ずかしそうに並んで写っています。

真っ黒になって毎日ボールを追いかけた高校時代は、国体等々に出場し、四国、秋田等へ鈍行列車乗り継いで行ったものです。

塙町の18年間は、風呂山公園(当時私たちは青年山と呼んで

いました)の桜やつつじ祭り、川上川の灯籠流し、盆踊りの輪、唇が紫色になるまでの川遊び、雪かきしながらの登校等、ワクワクするような毎日を精一杯生きました。

卒業後、憧れの東京へと飛び立ちました。一年に2、3度の帰郷は、忙しさを華やかさで見失った心と時間を癒してくれ、背中を押してくれました。

就職、結婚、子育ての年月が過ぎ、現在は狭山茶の産地、埼玉県入間市に夫と住んでいます。ずっと続けていたテニスの選手活動も終え、スクールで指導の日々を送っています。

父が亡くなり、一年の3分の1を母との生活になりました。改めて、塙の温かさに出会っています。毎日のように心配してくれる母のお友達やご近所の優しさ、地元の親戚の心強さ。町を歩くと「お母さん元気？」と皆さんに声を掛けていただいています。母の元気さも刺激になり、うれしい限りです。

地元ですっと生活し、塙町を支え続けている皆さまには感謝しております。

幼いころに野山を駆け回り、川で遊んだ、この大切な塙町に戻れたことを本当に良かったと思っています。

塙町は本当にすてきです。(今回は、東京都台東区在住の鈴木ミサ子さんです)

心温まる善意に感謝 (4月分)

■ 県南環境衛生センター・株式会社カンスイ 役職員一同 様

106,971円 (風呂山公園つつじ募金)

■ 東白衛生協同組合 様

100,000円 (町への義援金)

100,000円 (風呂山公園つつじ募金)

こんにちは赤ちゃん

3月16日から4月15日までの届け出

出生児名	父	母	月/日	住所
矢野尾月愛 <small>あき</small>	良輔	美紀	3/11	台宿
鈴木奏杜 <small>かなと</small>	純一	彩日	3/21	伊香
深谷遥斗 <small>はると</small>	剛	恵	3/31	桜木町
南條莉沙 <small>りさ</small>	隆明	久美子	4/2	上渋井

※「おおくやみ申し上げます」は15ページに掲載してあります。



7 COLORS

まちの輝く人

No. 7



昨年10月1日に実施した稲刈り体験。初男さんが、親切・丁寧に教えます

「初男さん、今年も来たよ！」東京都練馬区春日町本通り商店会の農業体験「湯悠ゆったり塙まるごと体験ツアー」。平成19年度から始まり、毎年40人ほどの方が参加している。年3回来町し、田植え・稲刈りのほか、イチゴ狩りやジャガイモ掘りなどを体験。

それを受け入れているのが「常世アグリネットワーク実行委員会」。メンバー10人で毎年、体験のお世話をしている。

始まって6年目のこの事業。「田舎の良さを知ってほしい。そして、塙の美味しいお米をたくさん食べてほしい」という初男さんの熱い思い。練馬区の皆さんに伝わり、毎年参加する方が

たくさんいる。ツアー以外にも、個人的に初男さんの稲刈りの手伝いにきてくれた家族がいたという。

「このツアーは、単なる農業体験ではない。塙町と練馬区、人と人との交流だ。これからも、家庭的なつきあいをしていきたい」。また、「原発事故による風評被害の払拭に努め、安心安全なものをこれからも提供していきたい」と話してくれた初男さん。

災害時における相互応援協定を結んでいる練馬区。昨年の大震災の際も、たくさんの支援をいただいた。塙町との交流は今後もずっと続いていく—

※今年の体験ツアーは、5月12日(土)・13日(日)に実施予定です。

塙のうまい米を食べてほしい
練馬区の皆さんとの
心の交流に感謝

常世アグリネットワーク実行委員会
代表を務める

生方 初男 さん

PROFILE：うぶかた・はつお(水元・76歳)
農業。主に米・イチゴを生産。
平成19年度から毎年、練馬区民の農業体験を受け入れている。



● 休日の当番医院

5月3日(木)	和田医院 ☎ 33-2012	5月13日(日)	東白川中央病院 ☎ 33-3263
5月4日(金)	東館診療所 ☎ 46-3165	5月20日(日)	おおひら整形外科クリニック ☎ 33-9468
5月5日(土)	大木医院 ☎ 33-2424	5月27日(日)	塙厚生病院 ☎ 43-1145
5月6日(日)	金澤医院 ☎ 46-2312	6月3日(日)	木村医院 ☎ 46-3528

▼新年度がスタートして1ヵ月。進学や就職、異動などで新たな環境になった方がたくさんいることでしょう。私は広報担当5年目に入りました。「広報はなわ」はこのたびリニューアル。今月号から毎月表紙・裏表紙がカラーになります。今まで以上、町民の皆さんに愛される広報紙を目指し取り組みたいと思います。

関根宏二

● 町長と町を語ろうよ

いつでもご連絡ください

町は、町民の皆さんの手で支えられています。町長と気軽に話し合い、あなたのご意見をお聞かせください。なお、出張中などで町長が不在のときもありますので、町長と話がしたい場合には事前にご連絡をお願いします。

■問い合わせ 総務課総務係 ☎ 43-2111

● 今月の納税

固定資産税 全期前納・1期
(納付書は5/18に発送します)
納期限 5月31日(木)

● 町の人口 9,755人(4月1日現在)

男性 4,824人(-30) 世帯数 3,291戸(-5)
女性 4,931人(-26) ()内は前月比
※広報はなわの『町の人口』は、住民基本台帳の人口、世帯数を掲載しています。

発行・編集／塙町役場 〒963-1549
印刷／佐藤印刷所 福島県東白川郡塙町大字塙字大町三丁目21番地
FAX (0247) 431211